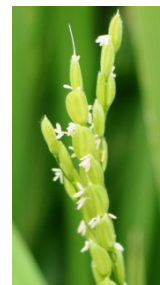


稲の花

稲の花は、なかなか見ることができない貴重な花です。バケツ稲を毎日かかさず観察していれば、限られた時間しか咲きませんが、きっと見ることができるはずです。稲の花は、穂が出てからすぐに咲きます。午前9時ごろから数時間しか咲かないので、見逃さないように観察しましょう！

昨年は8月3日に咲きました。



温度管理

これからの時期、暑さでバケツの水もお湯のようになってしまいます。バケツの周りを段ボールやアルミホイルで覆うなど暑さ対策をお願いします。

またバケツはコンクリートやアスファルトの上より、地面やむしろの上に置くことをお勧めします。

水の管理

穂のあかちゃん（幼穂＝ようすい）ができ始める頃は、稲が成長の中で一番栄養と水分が必要とする時期なので、水をこまめにあげて5cmの水位を保つようにしましょう。穂が出た後は、水がなくなったら足すということをくり返します。特に夏休みの時期は、水やりを忘れて枯らしてしまうことが多いので気を付けてください。



スズメ対策

穂ができはじめたら、スズメが穂の中身を食べにきます。スズメが来ても食べられないように、鳥避けネットを設置するなど対策をしましょう。



収穫にむけて

収穫の目安は穂がでて45日くらい、穂の90%程度が黄金色になったことです。収穫前には落水（らくすい）を行います。落水する目安は、穂の85%程度が黄金色になった頃です。バケツの水を捨てて、その後は雨が当たらなくて風通しの良い軒下などに移動して稲を10日間くらい乾かします。

収穫した稲は、根元の方をしっかりと結び、穂を下にして干します。10日ほど乾燥が必要です。稲を干す時は、穂を下にするので、多少の雨がかかっても問題ありませんが、雨に当たりすぎると乾燥しません。できるだけ風通しがよくて雨の当たらない軒下などで乾かしてください。

また、この干しているときもスズメが食べに来ますので、注意して干してください。

